打てば響く市議会に

100号インタビュー…市民より願いをこめて

生かせ女の生活感覚

向井　承子

「この市政が市議会に理解してもらえれば、いずれは国の法改正に影響をあたえるはずです」

総務委員会（49・12・17）の席上、行政とちがう視点で、この婦人たちは問題として求スター掲示人数にはるべきだと主張し百瀬和育環境問題三鷹支部（支部長＝井澤芳氏）――が市議会に向けて請願を提出したきっかけは、たんなるたったのか、地域の人たちの市議会への関心はどうなのか。

地方自治の転換といわれるほど、地方自治が見直されている状況の背景に請願者のひとり向井澤子さんから、あれこれ話をうかがった。

◇

――公選禁止の答申以来用は自治省の見解でしばられ、そこはダメ、あれはダメとなっていれば何は縛っていないとこれまで。市民にはとても

市民は出られなくなってしまう。

地方自治というのは、あまりに住民が集まって作りあげてきたという。市議会ではないこんなに居の住いとこではないはずだと思うんです。

――市議会に請願を出したのは、地域からだったんへ、そういう意識を変革させていきたいということだったんですか。

――市議会を相当ほりたれているというか、重視しているということですか。

「そのとおりです。市議会や市政が地域住民とのつながりは金銭に意識なのにはっています。48年の夏、魚アジの無秩序な乱獲が問題になり、三鷹市でも水産問題が市議会に出され、見地

「請願・陳情まだまだ新鮮」――100号を振り返るとこんな感想が出た。ただ「みたか議会だより」が歩んだこの16年は市議会にとって変化の激しい時期ではない。都市の開発状況は、日本経済高度成長の波を間髪にはみ出さつつあった。内閣では開発や公害をめぐるさまざまな住民運動が発生し、市は住民運動が多くなっている。住民にとって、市議会が何を考えるかとの見ている。

一方で、市民は市政に落ちめぐるさまざまな問題の解決を市政に求めてはじめた地方自治体に期待している。市民にとって、市議会が何をもたらすかとの見ている。

この背景は、市は住民運動の高揚により、市政に対する期待が高まっている。

「請願・陳情まだまだ新鮮」――100号を振り返るとこんな感想が出た。ただ「みたか議会だより」が歩んだこの16年は市議会にとって変化の激しい時期ではない。都市の開発状況は、日本経済高度成長の波を間髪にはみ出さつつあった。内閣では開発や公害をめぐるさまざまな住民運動が発生し、市は住民運動が多くなっている。住民にとって、市議会が何を考えるかとの見ている。

一方で、市民は市政に落ちめぐるさまざまな問題の解決を市政に求めてはじめた地方自治体に期待している。市民にとって、市議会が何をもたらすかとの見ている。

この背景は、市は住民運動の高揚により、市政に対する期待が高まっている。

「請願・陳情まだまだ新鮮」――100号を振り返るとこんな感想が出た。ただ「みたか議会だより」が歩んだこの16年は市議会にとって変化の激しい時期ではない。都市の開発状況は、日本経済高度成長の波を間髪にはみ出さつつあった。内閣では開発や公害をめぐるさまざまな住民運動が発生し、市は住民運動が多くなっている。住民にとって、市議会が何を考えるかとの見ている。

一方で、市民は市政に落ちめぐるさまざまな問題の解決を市政に求めてはじめた地方自治体に期待している。市民にとって、市議会が何をもたらすかとの見ている。

この背景は、市は住民運動の高揚により、市政に対する期待が高まっている。

2つの住民運動　❶吉田さんらの運動はこうして実を結んだ（あすなろの家で）❷坂田さんらの運動は幹線道路の建設に一石を投じた（三鷹科金所工事再開の日に）

福祉を市政の原点に

吉田　ヤエ

心身障害児の通園施設「あすなろの家」は49年開設され、これは市民の長年の希望でもあった。

――「あすなろの家」開設の経過をお話ください。

――1年3月に「あすなろの会」ができました。

――49年3月に「あすなろの会」ができました。

――「あすなろの会」の市議要望については、49年1月提出の請願が採択されたが、大きな前進をみました。

――「そうです。この問題は厚生委員会の所管ですが、たった採択しただけではあるまいと思います。

――「学校の教育所の部会の運営委員会」を設置して、市政の向上のために、市議会の「あすなろの家設置」を決定して、市議会の「あすなろの家設置」を決定して、市議会の「あすなろの家設置」を決定して